

日本が世界選手権でトップを走る。スキーオリエンテーリング世界選手権の国別対抗リレーで体験した夢の一瞬。

2009年3月8日 北海道留寿都村  
スキーオリエンテーリング世界選手権  
国別対抗リレー競技

## 男子結果

1	フィンランド	1:51:03
2	ロシア	1:53:28
3	スウェーデン	1:56:40
4	ノルウェー	1:58:02
5	チェコ	1:58:49
6	スイス	2:01:49
7	リトアニア	2:10:27
8	日本	2:12:56
	堀江守弘	0:42:13
	田中陽希	0:41:19
	高橋善徳	0:49:23
9	カザフスタン	2:19:37
10	ラトビア	2:28:23
11	アメリカ	2:51:23
	ブルガリア	未完走
	ドイツ	未完走
	エストニア	未完走
	ウクライナ	未完走
	オーストリア	未完走
	ルーマニア	未完走
	イタリア	未完走

## 堀江がレースをリード

テレイン内から信じられない無線連絡が入る。日本男子の第一走者・堀江守弘が、各国の第一走者を引き連れ、トップを滑っているらしい。

さらに期待すること約30分。堀江はトップグループに喰らいついて会場に戻ってきた。トップと僅か1分3秒差の5位で、第二走者の田中陽希にチェンジオーバーした。

世界と互角に渡り合った瞬間だ。会場に詰め掛けた応援団も日本の大健闘を目の前に感激に震えた。

「レース中はトップを走っている実感は無かった。」そう振り返る堀江だが、この一瞬は今まで日本が経験したことのない夢の時間だった。

## 陽希・大活躍！

強豪国は第二走者から準エースを投入し、第一走者からは一皮剥けたレースを展開し始める。堀江の後ろにつけていた中堅国スイスとチェコに先行を

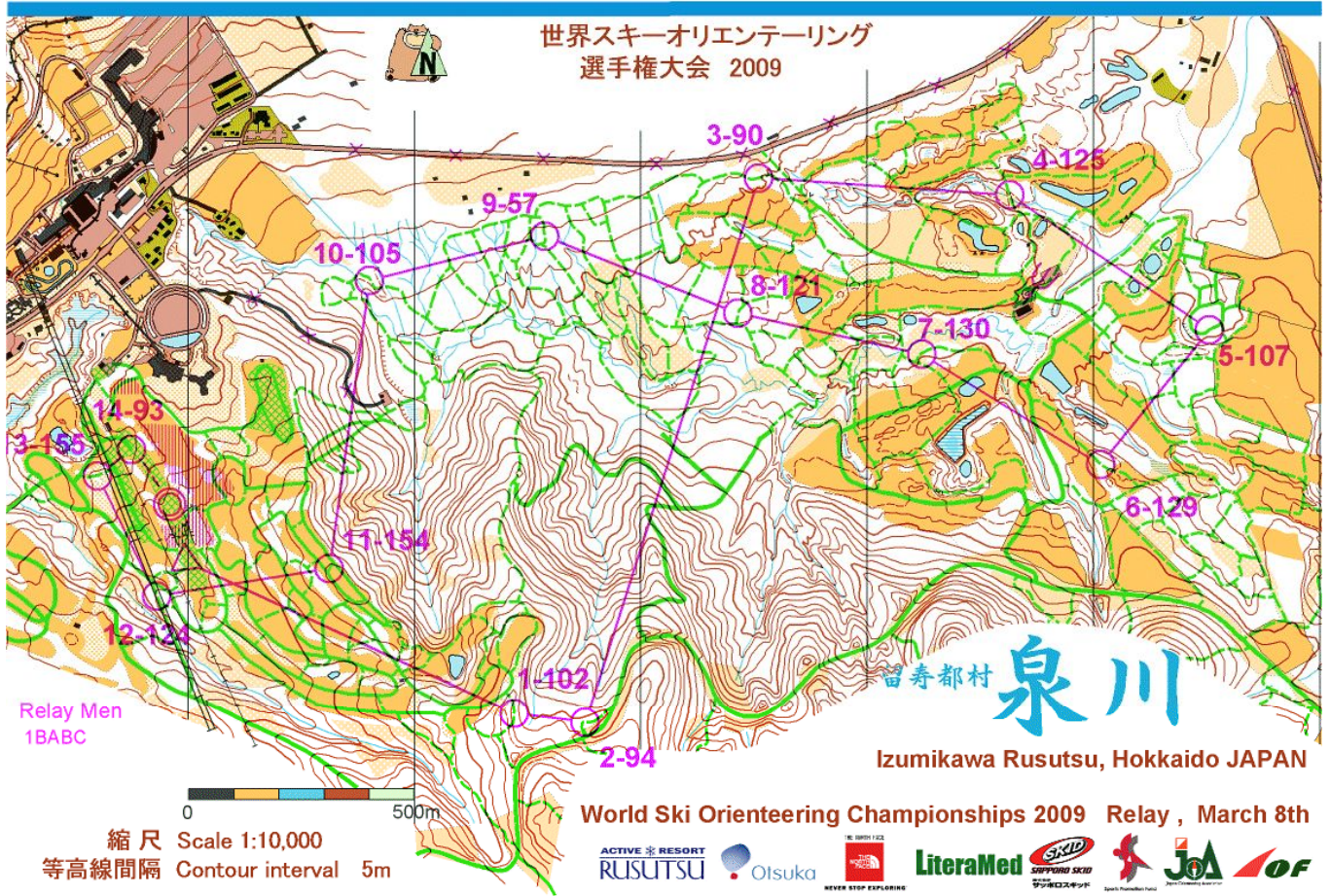


日本男子2走・田中陽希を目掛けて疾走する堀江守弘。トップと1分3秒差の実質5位の快走だ。



日本男子2走・田中陽希から3走・高橋善徳へ実質7位でチェンジオーバー。すぐ前に出たチェコとスイスを追う。その姿をUHB（北海道文化放送）のTVカメラが追う。





スキーオリエンテーリング世界選手権 2009 男子リレーの地図。堀江が滑ったコースを掲載する。ルスツリゾートが持つ2つのゴルフ場のオープンと、その間をつなぐ急傾斜の森林部分、平坦な森林部分。さまざまな部分でのナビゲーション技術と滑走技術が問われる。テレイン内でこれだけ変化する雪質にワックスクルーも悩まされただろう。

許す。いつもの日本ならこのから離されてしまうが日本の田中陽希は粘った。チェコ、スイスから大きく離されることなく実質7位で会場へ戻ってきた。「悔しい。前に見えているけど追いつけない。」・・・この言葉は世界への中堅国と互角に戦った陽希だからこそ語れる言葉なのだ。

シア男子を破ったのはフィンランド。最高の笑顔を見せてみフィニッシュに飛び込んだ。前日のミドルで表彰台を独占したフィンランドがリレーでも爆発力を見せた。  
アンカーはフィンランドのエース・スタファンと、ロシアのプリンスこと

アンドレイ・ラモフとの一騎打ち。この勝負でスタファンが勝利をもぎ取った。  
前回のモスクワ大会で、ロシアを長い間、栄光へと導いてきた王者エドワードはリレーへの参加が見送られた。世代は交代しつつある。

### 開催国の意地

そして日本男子の夢のリレーはアンカー高橋善徳へ。リトアニアに抜かれるものなのなんとか8位でフィニッシュした。  
日本男子はやってくれた。日本の可能性は広がった。地元開催国として、リレーの快走は何よりも嬉しい。  
現地まで応援に駆けつけた者、インターネットライブ中継を見た者がこの日本男子の活躍を祝福した。  
そして今回の大会運営に関わった日本の役員一同は、今回の日本男子の活躍を喜び、開催にあたっての努力が報われた気がしただろう。

### フィンランド男子が優勝

長い間世界選手権に君臨していたロ



男子優勝のフィンランドチーム。喜びを爆発させた。(左：スタファン / 中央：マッティ / 右：チーム)





8位で競技を終えた日本女子。アンカー白鳥のフィニッシュでは多くの応援が会場を包んだ。  
 (左: 1走・高橋美和 / 中央: 3走・白鳥桂子 / 右: 1走・酒井佳子)

アナ・ブラソバがアンカーで2位までマクリ上げてきた。

3位はチェコ。強豪フィンランドを撃破して銅メダルへと滑り込んだ。今大会のチェコ女子の成績には目を見張るものがある。

### 本当の世界選手権が実現

今回の世界選手権では、強豪国はすべてアウェー戦。強豪国同士すべて同じ土俵で戦うことができた。その意味で公平に世界一を競い合う舞台が提供できたと言えよう。

さまざまな課題を試すトレインとコース。用具や対応力を試す気候と気温の変化。よく整えられたスノートラック環境。選手やワックスクルーを支える充実した施設。こうした環境で競い合えたことを喜ぶ参加選手と参加チーム。真の世界選手権が実現したことに對して、参加チームや選手からはすこぶる高い評価をいただいた。

(木村佳司)



カラオケで盛り上がる、ライバル2人  
 (左: アンドレイ・ラモフ: ロシア) (右: スタファン・トゥニス: フィンランド)  
 レース終了後のダンスパーティにて。一見スマートに見える2名だが、胸板の厚さ、腕の太さはタダモノではない。

### 日本女子入賞ならず

#### 女子結果

1	スウェーデン	1:32:03
2	ロシア	1:33:03
3	チェコ	1:34:21
4	フィンランド	1:35:43
5	リトアニア	1:44:09
6	ブルガリア	1:52:13
7	カザフスタン	2:03:01
8	日本	2:15:59
	酒井佳子	0:39:25
	高橋美和	0:45:27
	白鳥桂子	0:51:07
9	アメリカ	2:51:58
	スイス	未完走
	カナダ	未完走
	オーストリア	未完走

結果を見れば、それは高いハードルだと言わざるを得ない。日本女子は実力通りのレースを行ない、予想通りの8位。

### スウェーデン唯一の金

女子優勝はスウェーデン。強豪ロシアを下しての優勝である。1走終了時点ではロシアとスウェーデンは同着。2走からトップに躍り出たスウェーデンがそのままトップを維持して優勝した。走者の順に関わらず安定した速い滑りでレースを終始引っ張っていった。

ロシアは2走・ポリナで4位まで後退するが、昨日のミドル優勝のタティ



リレー日本女子。2走・高橋美和から3走・白鳥桂子へチェンジオーバー

女子リレーは参加国の少なさから入賞する可能性が一番高い種目だといわれていた。しかしここまでの3日間の



最終日の最終種目・女子リレーでスウェーデンが優勝。スウェーデンが手にした唯一の金メダルだ。